

病虫害発生予察注意報第 5 号

佐賀県

作物名：野菜類、花き類

病虫害名：チョウ目害虫（ハスモンヨトウ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ）

1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 定期調査における圃場での発生状況

- (1) イチゴの調査（10 月 15～24 日、16 圃場）では、チョウ目害虫の寄生株率は 4.5%（平年 1.9%）、食害株率は 26.5%（同 9.1%）であり、いずれも平年より多い。
- (2) キャベツの調査（10 月 22～24 日、8 圃場）では、チョウ目害虫の寄生株率は 25.6%（過去 4 か年平均 8.7%）と平年より多く、食害株率は 31.9%（同 49.6%）と平年より少ない。
- (3) キクの調査（10 月 22～24 日、8 圃場）では、チョウ目害虫の寄生株率は 0%（平年 0.5%）で平年よりやや少なく、食害株率は 3.0%（同 1.0%）と平年より多い。

2) フェロモントラップにおける誘殺状況（佐賀市川副町・農業試験研究センター設置）

- (1) ハスモンヨトウの誘殺数は 10 月 3 半旬以降増加しており、平年より多い（図 1）。
- (2) オオタバコガの誘殺数は 10 月 5 半旬に増加し、平年より多い（図 2）。
- (3) シロイチモジヨトウの誘殺数は 10 月 4～5 半旬に増加し、平年より多い（図 3）。

3) 気象要因

九州北部地方の 1 か月予報（福岡管区气象台 10 月 31 日発表）では、向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想されており、引き続き本虫の発生に好適である。

3. 防除上注意すべき事項

- 1) 発生状況は圃場ごとに大きく異なるため、必ず圃場を確認し、幼虫の発生が認められた圃場では早急に防除対策を行う。
- 2) 幼虫は、齢が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫期に防除を行う。
- 3) 薬剤防除にあたっては、登録内容（希釈倍数、収穫前日数等）を遵守し、かけむらが無いよう、丁寧に散布する。
- 4) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。なお、虫種によって薬剤の感受性が異なる場合があるため、薬剤の選定には注意し、散布後には効果を確認する。
- 5) 卵塊や分散前のふ化幼虫（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）は速やかに寄生葉を摘み取り処分する。
- 6) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4 ミリ目以下）を設置して成虫の圃場内への侵入を防ぐ。施設栽培の場合、発生が遅くまで続くことがあるので、早期発見、早期防除に努める。

- 7) 圃場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底する。
 8) 今後の発生状況は当センターが発表する各種情報及びホームページを参考にし、防除対策の詳細は「佐賀県総合防除計画（佐賀県病害虫防除のてびき）」を参照する。

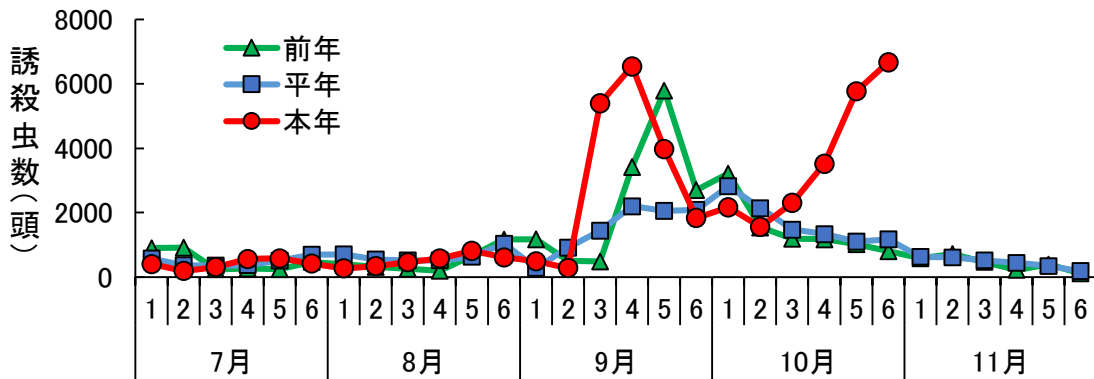


図 1 フェロモントラップ(佐賀市川副町)によるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

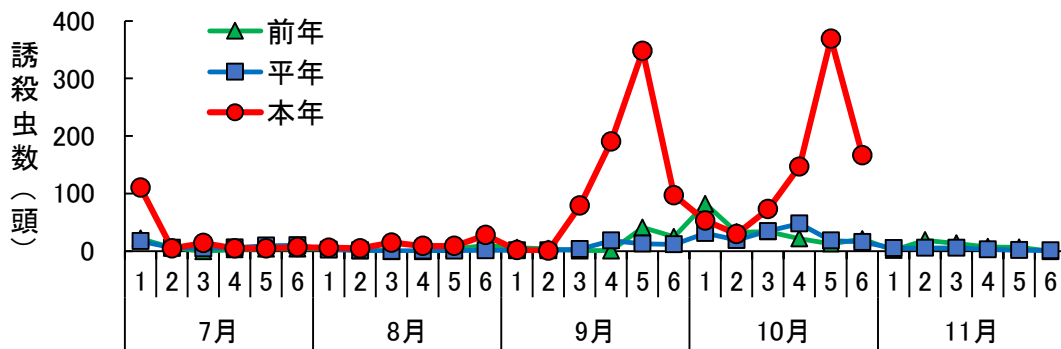


図 2 フェロモントラップ(佐賀市川副町)によるオオタバコガ雄成虫の半旬別誘殺数

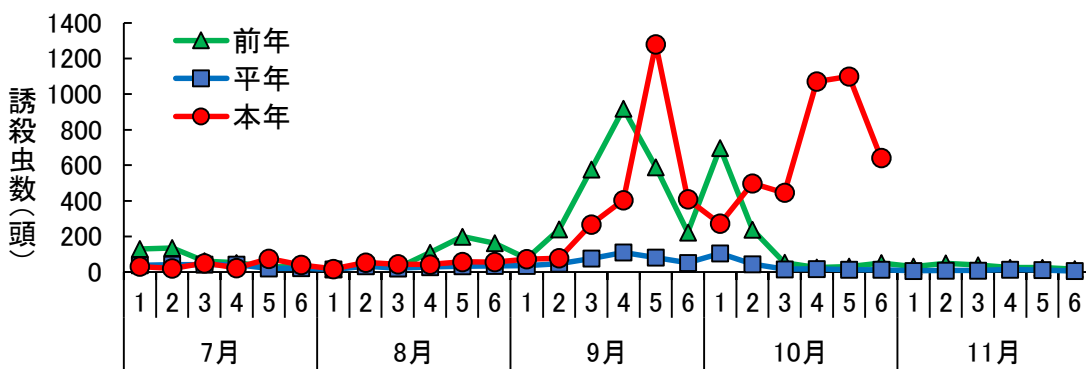


図 3 フェロモントラップ(佐賀市川副町)によるシロイチモジヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除セQRコード 防除計画 QRコード

